



つつじが丘

教育目標 ゆたかなまなび たのしいなかま げんきなからだ
重点目標 とともに高め合う 七谷っ子

加茂市立七谷川学校
学校より
令和3年10月1日
No. 478号

<http://www.ginzado.ne.jp/~7tnj-k/>
e-mail k-7tnj@educet.plala.or.jp

小さなことを大切に



子どもたちが帰った教室は、がらんとしています。消毒作業に各教室へお邪魔すると、がらんとした中にすっきり感がありました。それは、机に椅子がきちんと入っていたからです。「3つの㊦」の「あとしまつ」のひとつを形にしています。

「3つの㊦」は、教育哲学者の森信三氏の提唱した「しつけの3原則」を参考にさせていただきました。「しつけの3原則」とは、

- 1 あいさつは自分から先にする
- 2 名前を呼ばれたら「はい」と返事をする
- 3 はき物をそろえる、いすは入れる

です。この3つのしつけが身に付くと、子どもの「我」がとれるそうです。「我」がとれるということは、素直な気持ちになることであり、こういう子どもは何でも吸収し、伸びていくことが期待できます。森信三氏によれば、この3つが人間の生き方の基本であり、この3つが身に付けば、ほかの様々なしつけもできるようになっていくのだそうです。

「七谷15歳の子ども像」の一つ目、「明るい挨拶・返事・感謝の言葉が言える子」(共感力)は、作成当時、地域・保護者の方々から圧倒的な支持を得た項目です。学校と地域・保護者の方々で七谷の宝である子どもたちの心をしっかりと育てていきたいと思ひます。

保護者の方からこんなお葉書をいただきました。
「心」を育むこと。思いは一緒です。



